

委員会レポート 2011年7月～2012年6月

奉仕プログラム

委員長／米村昌子 副委員長／緒方洋子
委員／川口延子・宮園佳代・橋岡子

奉仕プログラム委員会は、23年9月定例会において、秋月美和先生に卓話(乳がん早期発見の大事さ ピンクリボン運動)をいただき、「女性のために変化をもたらす賞」として表彰、24年3月定例会において、K・Iさんを「女性に機会を与える賞」として表彰しました。24年4月のリジョン大会においても「WOA賞」を受賞されたクラブからの発表がありました。アンケートの結果「WOA賞」の応募が増加・定着して、近年では70%～80%の応募率となっており、わかばも第1期より継続して応募しています。その他、ペットボトルのキャップ・使用済み切手・ハビタット募金等の活動は、会員皆様のご協力で収集でき所定の会へ届けることが出来ました。1年間盛り立てて頂きました事を感謝申し上げます。

財務・資金調達

委員長／三嶋悦子 副委員長／伊瀬知美里
委員／鳥井彩子・藤田香織・小川真奈美

今期も奉仕活動として、チャリティゴルフを開催し、乳児用呼吸モニターを贈呈することができました。また、来期わかばは2005年7月7日に認証を受け7年目を迎えます。その記念事業として、新たな試みで七夕チャリティ昼食会を企画しております。その益金で乳児用呼吸モニター2台を贈呈する事が決まりました。今後もこの企画が続けられる様になることを願っています。

メンバーシップ

委員長／田中ゆかり 副委員長／東和子
委員／布村洋子

6期のメンバーシップ委員会は まず、新入会員の増員を目標としました。奉仕プログラム委員会主催の卓話を案内して、会員の友人や知人の方と一緒に聴講して頂き、1名の新入会員(小川真奈美さん)を迎える事が出来ました。今後も、卓話等を「お誘いの会」として食事しながら、わかばクラブの楽しさや、SIの活動を説明して入会勧誘を続ける意向です。一方、退会者を出さない為にも、細則を緩やかなものとし例会を楽しみながら参加できるクラブ作りを目指しました。その一つとして、毎月の例会では、誕生月の会員にインタビューを行い、抱負や夢を語って頂きました。又欠席者には例会資料と一緒に一言メッセージの手紙をつけて送付しました。これからも和やかな暖かいクラブ作りをしたいと思っています。

広報(意識啓発)

委員長／坂本直美 副委員長／安楽美代子
委員／宮本順子・山本康子

今期は新会長就任の挨拶とSI活動の報道等のお願いにSI市内4クラブ会長と広報委員長が関係機関や報道関係者を訪問する日程調整役(クラブの輪番制)からスタートしました。秋の日本財団年次大会にも資料を持って内容説明と報道のお願いに報道各社を訪問しました。クラブ内では会報誌の発送作業やチャリティゴルフの取材依頼と参加者の写真撮影を行いました。また、クラブHPやﾌﾟﾛｸﾞの更新を行い、将来の周年事業や記念誌等作成の為に認証時からの写真と資料の整理を行いました。会員への意識啓発では南リジョン広報委員会作成のDVDで再確認し、ソーシャルメディアやメールも活用して委員会活動を行いました。将来はペーパーレス化が進みタブレットやモバイルPC持参で定例会等に参加する時代が来るかもしれませんね。結びに、会報誌発行にご協力頂いた皆さまに感謝しております。

規約決議・SOLT

委員長／津田寿子 副委員長／萩野厚子
委員／岡本昭子

今年度のソルト委員会は、わかば細則の見直しという重責をいただき、皆で一致団結を!と頑張ってまいりました。でも、途中一番頼りになる寺本会員の退会というハプニングがあり、残念で寂しい事がありました。ただ、小委員会を重ねるにつけ、大変だった分、返って相互の理解、絆が深まったと感じています。得難い友人を得られた事は、うれしい事でした。

ソロプチミスト日本財団

委員長／山崎仁美 副委員長／鬼塚静波
委員／奥織菰子・松井素子

2011年の年次大会が熊本で開催。私達サポーティングクラブは全精力で準備に明け暮れた7ヶ月でした。大会当日はわかばの団結力で成功に終わる事が出来ました。ありがとうございました。12月に卓話をお願いした慈恵病院の田尻看護部長のお話は現実にある悲しい話もありましたが、女性や子どもの為に一生懸命されている姿勢に頭が下がりました。そして社会ボランティア賞の志岐有子さんは絵本の読み聞かせを20年続けていらっしゃる。このように社会の為に活動されている人達を少しでも支えていけたらと強く思った一年でした。



新会員紹介



小川 真奈美
MANAMI OGAWA

昨年の9月に会社経営を引き継ぎ、毎日が慌ただしく過ぎていく中で、この会への入会をお誘いいただきました。日頃より奉仕活動に興味がありましたので迷うことなく入会を決めました。まだまだ不慣れで諸先輩方にはご迷惑をおかけすることも多いと思いますが、いろんな出会いや経験を積みながら私自身も不撓不屈と奉仕の精神で日々成長していきたいと思っています。

国際ソロプチミスト熊本 一わかば http://www.sik-wakaba.com

【事務局】 〒860-0813 熊本市中央区琴平2丁目4-10
田中ゆかり TEL 096-366-1261

【例会日時】 毎月第3水曜日 12:00～15:00

【例会会場】 熊本ホテルキャッスル TEL 096-326-3311

● 発行 2012年6月30日

国際ソロプチミスト熊本一わかば 広報委員会

会長／鶴田美恵子 広報委員長／坂本直美 広報副委員長／安楽美代子
委員／宮本順子 委員／山本康子 監修／理事会



Wakaba

Vol.6
2011.JULY～2012.JUNE



Soroptimist International of Kumamoto-WAKABA



SI 熊本一わかば
会長 鶴田 美恵子

SI Kumamoto-Wakaba
President
MIEKO TSURUTA

飛躍 そしてさらなる交流をはかる

ソロプチミスト熊本一わかばの会員の高い能力と若い力で、過去5年間の会運営がスムーズで活発であったことを思い、私もさらなる飛躍ができることを願って役をお引き受けいたしました。長いと感じた6期も終わろうとしています。本年度も多くの事業・行事参加があり、そのいずれにも対しても理事、各委員長、その他会員全員で、本当に手際良くテキパキと役目をこなし、予定通りに立派な仕事ができたとと思います。会の為に献身的に頑張っていたことに会員の皆様に改めて感謝致します。本年度も新入会員一名を迎えました。早く会に慣れていただくようお願いの親睦をはかり、楽しく活動を行うことが新たな会員につながると考えています。また、来年度7期目の7月7日は認証記念日として7が揃うという「わかば」にとって一度しかない事でもありますので、「七夕チャリティ昼食会」を開くことに致しました。その益金で、熊本市保育園連盟に過去4年間贈り続けている「乳児用呼吸モニター」の寄贈をしたいと全員一致で決定し、現在、実行委員会を立ち上げ準備をしている所です。この催しが成功するように力を合わせて次期会長岡本昭子さんへバトンタッチしたいと思います。今後も“わかば”が益々発展していくことを祈っています。

2011年度 クラブ役員

会長／鶴田 美恵子

副会長／岡本 昭子

副会長／魚住 昌子

レコーディングセクレタリー／松井 素子

コレスポンディングセクレタリー／布村 洋子

トレジャラー／鳥井 彩子

アシスタントトレジャラー／藤田 香織

理事／米満 智子

理事／山本 康子

Live Your Dream 『夢を生きる』キャンペーン

『国際女性デー』である2006年3月8日に正式にスタートしたソロプチミスト『夢を生きる』キャンペーンは、世界中で多くの女性と女兒が貧困、差別、虐待等で苦しんでいる問題や、また国際ソロプチミストアメリカの使命でもある『女性と女兒がよりよい生活を送るのを助けるために何ができるのか』について理解促進を目指し、女性と女兒を助けるための活動です。これまで4回行われた『夢を生きる』アートコンテストは、夢を生きるよう女性と女兒を勇気付け、また幸運を他の人に引き継ぐよう励ますことを目的に、4歳から18歳までの生徒に毎回様々なテーマでソロプチミスト『Live Your Dream(夢を生きる)』キャンペーンのための絵画やロゴデザインの応募を呼び掛けています。



国際ソロプチミストとは…

国際ソロプチミストは実業界で活躍する女性、専門職に従事する女性の国際的なボランティア奉仕組織で地域社会と世界中で、女性と女兒の生活を向上させる活動をしています。

ホームページのご案内

国際ソロプチミスト熊本一わかばの
最新情報をいち早くチェック!!

ソロプチミスト 熊本 わかば 検索

http://www.sik-wakaba.com